

大学生と農山漁村との連携事例



摂南大学

実施主体名：すももプロジェクト

担当窓口

摂南大学農学部

URL

<https://www.setsunan.ac.jp/news/detail.html?id=6681>



活動内容

摂南大学農学部の学生有志や教職員が共同でプロジェクトを立ち上げ、大阪府枚方市にある地元山口農園の協力を得て、学生は主にすももの収穫からレシピの考案・ラベルデザインなどを担当し、農作物から商品ができるまでの苦労と達成感を実感。「すももちゃんサイダー」は学内のコンビニエンスストアや枚方市の観光案内所などで販売。また枚方市のふるさと納税返礼品にもなっている。



きっかけ

2021年3月、農業振興・食などについて地域課題の解決や地域の活性化を目的に、枚方市と連携協定を締結。枚方市北東部の杉地区では明治時代後期からすもも栽培が盛んになり、かつては「すもも団地」と呼ばれる程の生産規模であり市の特産品であった。現在も、府内では生産量が一位である。枚方市長から摂南大学長との懇談の機会に、すももの再生と地域活性化についてお話を伺い、摂南大学×山口農園×枚方市のすももサイダーの企画・制作となった。

展望

来年度以降も継続して製造できるよう販路の確保や拡大する予定。今後も特産物の創出や農産物を生かした商品開発など、地域振興・農業振興に貢献する取り組みを推進する。



収穫後の記念撮影



収穫の様子



収穫の様子